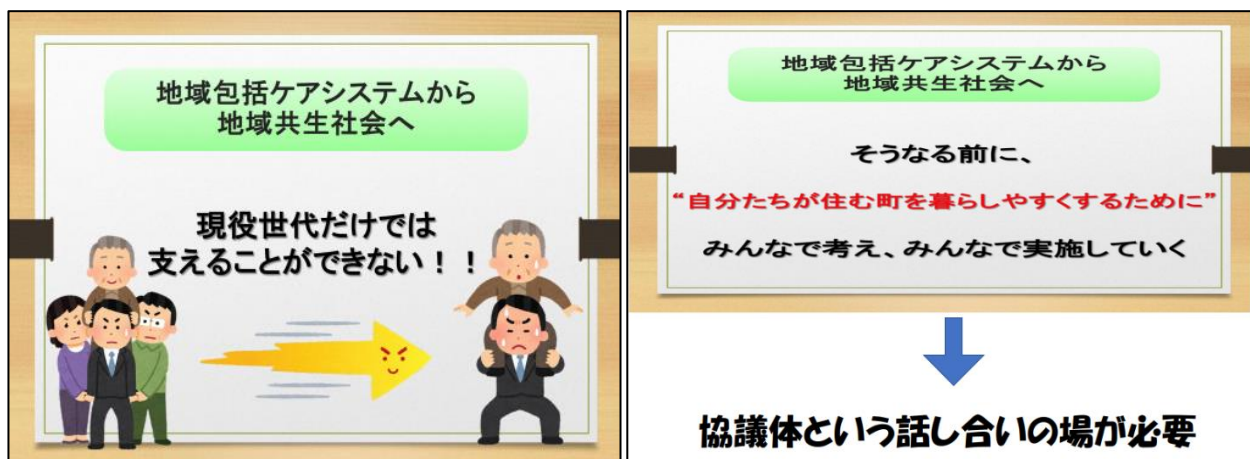


令和4年度 第1回 くすく支え愛隊 定例会の報告

コロナ禍により平成30年度を最後に定例会の開催を見送って参りましたが、令和4年12月19日(月) 当市役所にて約3年ぶりに開催しました。

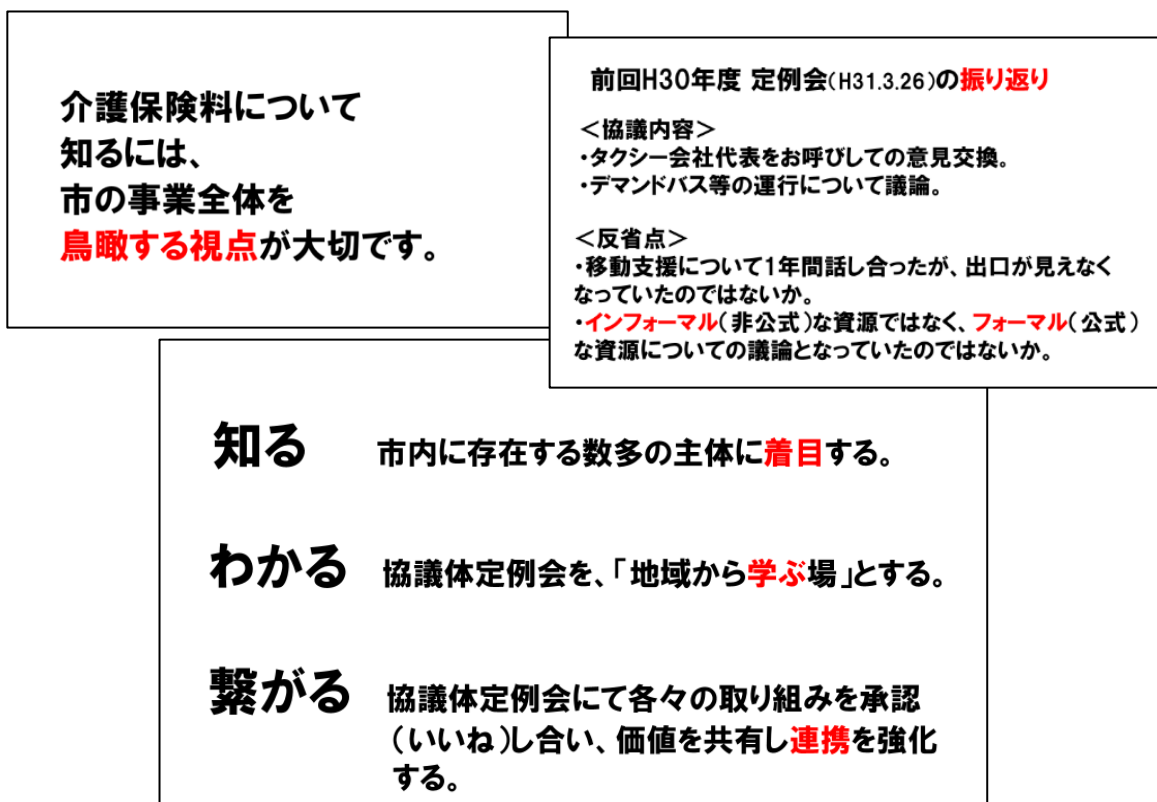
1. さわやか福祉財団 阿部氏による講話

地域共生社会を目指し、“自分たちが住む町を暮らしやすくするために” みんなで考え みんなで行動していく協議体という話し合いの場が必要であることを再確認しました。



2. 第1層生活支援コーディネーターによる制度説明

介護保険制度、生活支援体制整備事業について説明後、前回定例会の振り返りから「知る→わかる→繋がる」を新たなテーマとした協議体運営を提案しました。



3. 第2層生活支援コーディネーターによる活動報告

協議体の立ち上げからコロナ禍での活動、認知症にも優しい地域づくりを進めていることなどを報告して頂きました。

R4年12/19(月)令和4年度 豊見城市第1層協議体 第1回定例会

第2層 生活支援コーディネーター&協議体 これまでの活動

大好きな豊見城を
ゆいま〜るの輪で
つなげたい♡

豊見城市社会福祉協議会
 第2層生活支援コーディネーター 田仲育恵・上原聡江・上原ひ

アンケート結果から見たコロナ禍の地域課題

<p>① 普段の生活の困りごと</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特になし (48人) ・地域活動がお休み (14人) ・運動不足 (10人) ・話し相手がない (9人) ・外出ができない (8人) ・買い物など (5人) 	<p>② 地域から聞こえた困りごと</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特になし (34人) ・地域活動がお休み (25人) ・運動不足 (22人) ・外出ができない (19人) ・買い物、通院、水汲みなど (8人) ・会合や訪問ができない (6人) ・自治会活動、集金ができない (8人)
---	---

毎日テレビ、ラジオばかり見てぼーっとしていた

生活リズムが乱れ体力低下を感じた

コロナ予防でや〜くまい

余りある時間をどう過ごせばよいのか困った

虚しさや不安を感じる事が多かった

生活支援コーディネーター&協議体のこれまでの活動(コロナ後)

③ コロナ禍、地域状況アンケート調査

・R2年度…123名にコロナ禍の困り事や新しく始めた活動などを調査

④ アンケートの結果から行政、社協内で高齢者のフレイル予防のため「自宅でできる活動カード」を提案

・豊見城市/R2年度～
「9月敬老月間・特別企画」として「がんじゅうカード兼抽選券」を実施
応募者：R2年度/275名、R3年度/617名、R4年度/640名

・社協/R2年度～R3年度
地域ミニデイサービス、市老人会で「がんじゅうチャレンジカード」を実施
1回目(R2年12月～R3年2月)725枚配布 397名提出
2回目(R3年5月～6月)約500枚配布 163名提出

⑤ 地域資源マップ『ワッターシマのじょーとーむん』作成

・R3年度、R4年度発行
自治会長、老人会長、市障がい長寿課、地域包括支援センターなどへ配布

4. 県営渡橋名団地自治会長 西里氏、同自治会員 島仲氏による活動報告

地域懇談会で声があがった「移動が大変。でも自分の目で商品を選びたい」などの希望を叶えるため、生活支援コーディネーターが移動スーパーコープまちかど便の担当者へ声かけし、第2層協議体定例会にて両者が結びついた事例をお話して頂きました。

県営渡橋名団地 買物支援「コープまちかど便」

報告者：西里和浩自治会長

② 県営渡橋名団地の特徴

- ・人口：665人
- ・65歳以上150人
- ・高齢化率：22.56%

(年代別人口集計表より(R4.6.30現在))

平成18年度に建て替えが完了し10階建2棟
団地周辺には保育園、幼稚園、小中学校があり
子育て世代には便利な場所。近場にコンビニが1件あるが、
買い物などは車の移動手段がないと不便

⑨ コープまちかど便 利用者の声

「とても便利！」
「助かっているよ」



若い住民の利用者や、ミニデイに参加していない方も顔見知りになって話すようになったよ！

次回〇〇持ってきて～と頼んだら持ってきてくれるので助かっているさ～！

5. 上田山川自治会長 仲程氏による活動報告

地域の祭りや手作りマスクの配布、コロナワクチン接種予約の代行、お困りごとサポート隊などの事例紹介の他、取り組みの成果・感じたこと、今後の目標などをお話して頂きました。

上田山川自治会の近年の取り組み(コロナ禍)

- 傾斜地が多くトイレまでタクシーで行く高齢者や1週間分を頼にお願する高齢者がいる事に気づく
- 移動スーパーを集落に誘致
- 現在は希望者宅付近に来てもらい、地域の井戸端会議や「相対売」を楽しんでいる(火・金)

上田山川自治会の近年の取り組み(コロナ禍前)

集落の階段を使用して流しどうめん体験、むーちー作り体験

活動の理由・目的

約5年前、娘が小学校に入学し登校する際に
隣近所の保護者や子ども達が、よそよそしく感じ、
昔の上田山川はどうじゃなかった事に大変寂しさを感じたのを今でも鮮明に覚えている。
そのために自治会関係なく誰でも参加できるイベントを企画し、にかく人を集めて地域の親睦を深めていくなか、思い青年部を発足(スタートは2名)



6. ゆんたく会(進行:さわやか福祉財団 阿部氏)

これまでの発表を踏まえて感じたこと・何ができるかなどをグループごとに自由にゆんたくして頂きました。時間が足りず物足りなさが残りましたが皆さん活発に議論されておりました。



市民、民生委員、ケアマネジャー、医療機関、社会福祉協議会、地域包括支援センターなど、総勢 39 名の方々にご参加いただきました。

アンケートの声

- ・自治会の方々の具体的な活動内容や問題点などとても分かりやすかったです。訪問の際など今日学んだことを生かしていきたいと思いました。
- ・豊見城市が住みよい地域になるように協力していきたいです。
- ・第2層の取り組みや、自治体の事例をきくことができ大変学びになりました。多くの人に共有できるように、ホームページにのせることはできるでしょうか。各地区での取り組みがリアルタイムに知れると思いました。
- ・上田自治会の報告は参考になりました。高齢者に対する取り組み等、活動の仕方等勉強になりました。
- ・上田山川の活動は大変興味深いものだった。他の地域にも多いに参考になるのでは？
- ・現在、仕事以外で高齢者に接する機会が無く今日は楽しく過ごせました。
- ・地域の取り組み方も学ぶことができました（移動スーパーの件）。
- ・地域防災について話を聞きたい。高齢者や子供達の安全の為。協議体定例会のたいせつさ。
- ・地域の取り組みを知れただけでも参考になりました。これから少しずつ高齢者の支援につながることを考えていけたらと思います。
- ・自治体の取り組みが聞いてよかったです。今後、必ず協力していきます。ありがとうございました。
- ・県営渡橋名団地同様、高齢化が進んでいるため、渡橋名団地の取り組みの「地域の支え合い活動」はかなり参考になりました。折角グループにわかれ話し合いがありましたが、もう少し時間が欲しかったです。阿部さんの話をもっともっと聞きたかったです。
- ・担当している利用者さんの環境やインフォーマルサービスを知らないなので、知りたくて参加させて頂きました。
- ・自治会の活動が、地域の皆を支え笑顔にしていると知り、自治会の重要性を知りました。

次回は令和5年度中の開催を予定しております。

市民の方・市内で働く方など、地域づくりに関心のある方であればどなたでもご参加をお待ちしております！！